

あなたとつなぐ

甲賀
こうが

市議会だより

KOKA city assembly report 令和7年(2025)02.01 vol.87



Contents

- 02 【特集】木の駅
- 04 正副議長の就任挨拶・新体制の紹介
- 06 議案審議11月臨時会・12月定例会
- 10 代表質問・一般質問／市の考えを問う
- 19 議会活動レポート
- 22 組合議会報告
- 23 議会改革キックオフ

PHOTO 木の駅チェーンソー講習会(P2、3に特集)

令和4年6月5日、鹿深夢の森を主会場に第72回全国植樹祭が開催されました。全国植樹祭の開催を契機に、森林の保全や森林整備などの森づくりに対する市民の関心が高まっています。甲賀市では森林の保全に向けた活動が地域でも行われています。

「木の駅」の取り組み

甲賀木の駅運営委員会では約10年前からボランティアの皆さんによる森林保全活動を目的に様々な活動が行われており、昨年12月にも一般の方を対象にした山の木の受け入れが行われました。この取組では地域経済の活性化を促進する目的で「モリ券」が発行され、地元商店で商品との交換も行われています。今回は、甲賀木の駅運営委員会の大原久和代表にお話を伺いました。

活動を始められて10年が経ったとお聞きしましたが。

大原 平成25年に当時の愛林クラブの役員で先進地の視察に行き、地域の森林資源や人的資源を活用し



代表の大原久和さん

ながら山林再生を目的に、平成26年に甲賀木の駅運営委員会が設立されました。

当初のご苦労は大きかったと思いますが。

大原 最初は予算もなく機械もなかったので、人の力での作業が大変でした。2年目からはチェンソー講習会を行い、ようやく木が切れるようになりました。チェンソー講習会は今年も年3回行っています。また、木の駅となる土場もなく苦労しました。平成29年からはここ（大久保地先）をお借りできるようにになりました。

モリ券もすばらしい取組ですね。

大原 モリ券の取組は当初から行っていますが、森林保全と地域経済の活性化につながればと思っています。現在18店舗の協力店がありますが、今後増やしていきたいと考えています。

全国植樹祭はどうでしたか。



鹿深夢の森近くの木の駅

大原 近くの鹿深夢の森が主会場となり、多くの方々に活動を知っていただけたのと、木の駅のPRにもつながりました。

今後の活動や森林や里山の保全についてお考えは。

大原 何でもそうですが人口減少が大きな課題で、多くの若い世代に森林や里山に関心を持ってもらうことが大切だと思います。持続性も重要で、5年前から行っていた大いっている甲賀福祉作業所の皆さんによる薪割り作業も続けていきたいと思っています。農福連携

森林と里山を守る

はよく聞きますが、林福連携も頑張ります。
お忙しい中ありがとうございます。



甲賀福祉作業所の皆さんによる薪割り

今回は甲賀木の駅運営委員会代表の大原さんにお話を伺いましたが、その他にも森林の保全や森林整備を目的に活動されている団体があります。かふか林業研究会、甲賀愛林クラブにもお話を伺いました。また、市内の学校では以前から緑の少年団の活動も行われており、全国植樹祭の開催を契機に広がっています。甲賀市の森林や里山をみんなで守っていききたいものです。

かふか林業研究会



「かふか林研」(会員30名)では林業技術の研鑽、後継者の育成、特産品開発等の計画のもと、近年は県、市から「やまの健康」木の駅関連事業の助成を受け、間伐材の搬出、薪の生産を中心に現場での独自活動を展開。
その他「愛林クラブ」との連携支部活動や県・市主催の林業啓発イベントへの参画や県下各林研グループ会員との交流事業にも参加しています。

かふか林業研究会会長 水上 重彦



甲賀愛林クラブ



本クラブでは平成16年から上下流連携の森づくり事業として、毎年皮はぎ間伐のイベントを実施しています。

私たち上流側の者が下流域の人たちを森林整備、特に間伐の大切さを伝えることが大切と考え、大阪府豊中市民を招き市民と交流を深めています。また、豊中市との交流でも毎年「とよなか環境展」に参加、大変好評を得ています。

甲賀愛林クラブ会長 中村 典也



市民の皆様とともに

昨年、甲賀市は合併から20年の節目を迎え、新たなステージへと歩み始めました。これからの地域社会では一人ひとりの幸せ「ウェルビーイング」を重視した新たな価値観が求められ、多面的な豊かさを追求していく必要があると感じています。市議会では、多様な市民の声に真摯に耳を傾け、若い世代や女性の参画を促進し、より開かれた議会をめざしてまいります。新しい時代にふさわしい地域社会の実現に向けて、さらなる議会改革を推進し、市民の皆様とともに歩む議会へと取り組んでまいります所存です。

皆様の一層のご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



議長 田中 将之

新議員の紹介

令和6年10月27日、甲賀市長選挙と同時に執行された甲賀市議会議員補欠選挙で3名の議員が新たに当選しました。残り1年間の任期、24名体制で新たにスタートを切りました。



氏名 糸目 仁樹
住所 甲南町希望ヶ丘
所属委員会 総務常任委員会



氏名 出口 雅之
住所 水口町虫生野
所属委員会 厚生文教常任委員会



氏名 村木 慶太郎
住所 甲南町希望ヶ丘本町
所属委員会 産業建設常任委員会

歩む議会へ



副議長 西村 慧

議会は、直接選挙による意思決定機関であり、行政事務執行の「監視機能」と市民の意思を代弁する「政策提案機能」という大きく2つの役割を担っています。昨年、市制施行20周年を迎えましたが、時代と共に多様化・複合化する行政課題に対して、最大限に市民ニーズに応えるためには、今まで以上に柔軟且つ活発で的確な議会運営が求められています。

その上で、議長を補佐し、特に議会改革の一環としての「広聴広報機能」の基礎作りを行うことで、議会目線でのわかりやすい情報発信に努め、また市民の皆さんの想いを議会の声へと繋げて参ります。



各常任委員会の新しい体制

甲賀市議会議員補欠選挙で当選した新議員3名が各常任委員会に配属になり、新たな常任委員会体制が決められました。議長は常任委員には含まれません。

総務常任委員会

扱うテーマの例：総合計画、財政、自治振興、危機管理等

◎田中 喜克 ○西田 忠
糸目 仁樹 岡田 重美
堀 郁子 戎脇 浩
谷永 兼二 橋本 律子

厚生文教常任委員会

扱うテーマの例：市民の生活と福祉、医療、介護、子育て、文化やスポーツ、教育

◎橋本 恒典 ○山岡 光広
福井 進 木村 真雄
北田 麗子 中島 裕介
出口 雅之 西村 慧

産業建設常任委員会

扱うテーマの例：産業、建設、観光振興、上下水道、生活環境

◎小倉 剛 ○西山 実
村木慶太郎 瀬古 幾司
奥村 則夫 林田 久充
田中 新人

◎…委員長 ○…副委員長

こんな議案を審議し 決めました



議案審議

令和6年第4回臨時会が11月8日開かれ、市長の所信表明が行われました。これを受けて11月26日から12月23日まで令和6年度第5回定例会が開かれました。提出された議案・請願・意見書は計56件で、慎重に審議しました。

11月8日
臨時議会



12月6日
議案質疑



12月23日
討論採決



■ 補正予算	6件
■ 新規条例制定	3件
■ 条例改正・廃止	7件
■ 人事	2件
■ 意見書案	6件
■ 請願	1件

今号ではこの中から5つをpickupします。結果の詳細は9頁をご覧ください。



PICK
UP
1

議案87号・134号・135号

財産の取得につき議決を求めることについて（追認）

「追認」議案が提出され可決しましたが… 再発防止のためのチェック体制強化を求めました

追認ってなに？

地方自治体が土地や建物などを取得・処分する場合、地方自治法では基準(2000万円)以上の額であれば、議会が議決しなければならないことを定めています。今回、議会議決を経ないで建物を取得したり、備品を購入していたことが明らかになったため、遡って契約を有効とするため、議決が求められました。

- ① 雲井コミュニティセンターの建物
取得価格2046万円
(不動産鑑定価格1860万円・消費税別)
◆契約日 令和5年12月25日
- ② ≪小学校教師用教科書及び指導書≫
取得価格 2024万2890円
◆契約日 令和2年3月30日 随意契約
- ③ ≪鳥獣侵入防止柵資材・フェンス等≫
取得価格 2021万1070円
◆契約日 令和元年8月16日 入札

質疑応答

- Q** その原因は。いつ明らかになったのか。
- A** 担当課の「誤認識」が要因。定期監査の事前審査過程で明らかになった。
- Q** 議決を経ないで支出ということは、違法な公金支出があったということだが、その認識は。
- A** 誠に申し訳ない。過去に遡って精査したら、さらに2件あった。あってはならない事態。
- Q** チェック機能が働いていない。再発防止策は。
- A** 再びこうした事態が生じないように、システム上でチェックできるようにする。

PICK
UP **2**

議案91号

甲賀市こども家庭センター条例の制定について

新規「甲賀市こども家庭センター条例」ができました

この条例は、「子育て世代包括支援センター」と「子ども家庭総合支援拠点」の設立の意義や機能を維持した上で組織を見直し、全ての妊産婦、子育て世代、子どもに対し、母子保健・児童福祉の両機能が一体的に相談支援を行う機関として、制定するものです。

母子保健機能(従前の「子育て世代包括支援センター」が果たしてきた機能)及び児童福祉機能(従前の「子ども家庭総合支援拠点」が果たしてきた機能)の一体的な運営を通じて、①妊産婦及び乳幼児の健康保持・増進に関する包括的な支援。②子どもとその家庭(妊産婦を含む)の福祉に関する包括的な支援を、切れ目なく、漏れなく提供することをめざしています。



質疑応答

Q こども家庭センターの役割は。

A 『母子保健機能』と『児童福祉機能』を一体的に行う機関であり、子ども子育て家庭の福祉の包括的な支援を行う。

Q 職員と体制は。

A こども政策部にセンターをおき、庁内、他部署との連携を図る。センター長、統括支援員はその専門性を活かして業務マネジメントを担う。職員は現状の人員を確保する。

PICK
UP **3**

議案92号

甲賀市文化芸術振興条例の制定について

新規「甲賀市文化芸術振興条例」ができました

この条例は、文化芸術基本法第4条の規定及び障害者による文化芸術活動の推進に関する法律第5条の規定に基づくものです。心豊かな市民生活及び活力ある社会の実現に資することを目的とします。

本条例は、市内にある障がい者施設で世界的なアールブリュット作品の振興も含めているのが特徴です。

この条例の制定により、甲賀市独自の文化芸術に触れる機会が増え、地域の特色が発展し、郷土愛、シックプライドの醸成にもつながります。



質疑応答

Q 障がい者の視点も取り入れた条例は他市町でもあるのか。

A 条例に盛り込んだのは県内初めて。今後とも意見を賜りながら推進していきたい。

Q 審議会は学識経験者など交えて行われているか。

A 障がい者施設の方などの意見も参考にしながら計画していきたい。

PICK
UP
4

議案97号 公共施設使用料の見直しに伴う関係条例の整備について

議案98号 甲賀市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について

議案133号 甲賀市コミュニティセンター条例の一部を改正について

3件の使用料見直しは賛成多数で可決となりました

「公共施設使用料の見直しに係る基本方針」に基づき、令和5年4月の改正時に激変緩和措置として据え置いていた使用料を今回引き上げるための条例改正。

例えば、土山運動場や甲南グラウンドは、1時間当たりの使用料が500円から700円に。

激変緩和措置分の見直しをしないと、市内同様施設の使用料の不均衡が是正されないままとなる。

こんな意見がありました

反対討論

長引く物価高騰で市民の暮らしが大変な時に、いま引き上げる必要はない。

公共施設は、市民共有の財産であり、「受益者負担」を持ち出すべきではない。令和5年の改正時に28件のパブコメが寄せられ、現状維持・値上げはやめてという声があった。

賛成討論

今回の改定は、激変緩和措置としていた据え置き使用料を見直しするもので、料金も妥当なもの。また公共施設は、利用する人(受益者)が一定の負担をするのは、適正である。

PICK
UP
5

請願2号

物価上昇に見合う老齢年金等の改善を求める請願

請願は、賛成少数で不採択となりました

《請願者》

甲賀年金者組合支部 大原 盾夫

《紹介議員》

岡田 重美・西山 実

《請願事項》

若者も高齢者も安心して老後が暮らせるように、物価の上昇に見合う老齢年金等の支給額の改善を行うこと。

上記事項の実現を強く求め、政府に意見書を提出していただくよう、請願する。

こんな意見がありました

反対討論

物価高で高齢者の生活が大変という願意は理解する。しかし、それをふまえて政府に意見書をあげるには、公的年金制度を見直す必要がある。マクロ経済スライド制度は必要な制度である。低所得者の人には特別給付金も支給されている。

賛成討論

年金だけで暮らしている高齢者は政府統計でも57.2%。異常な物価高のもとで、衣食住を切りつめても生活することが困難な状況。せめて物価上昇に見合う年金支給に改善してほしいというのは当然の声であり、湖南市でも同様の請願が採択されている。

12月定例会議決結果

■ 全員賛成で可決・同意したもの

	番 号	提案者	件 名
その他	議案第87号	市長	財産の取得につき議決を求めることについて（追認）
人事	議案第88号	市長	甲賀市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
	議案第89号	市長	甲賀市農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて
	議案第90号	市長	甲賀市室内多目的広場条例の制定について
条例	議案第91号	市長	甲賀市子ども家庭センター条例の制定について
	議案第92号	市長	甲賀市文化芸術振興条例の制定について
	議案第93号	市長	甲賀市老人福祉センター条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第94号	市長	甲賀市地域包括支援センターの包括的支援事業の実施に係る職員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第95号	市長	甲賀市水道の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	議案第96号	市長	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について
	議案第99号	市長	甲賀市福祉ホール条例を廃止する条例の制定について
補正予算	議案第100号	市長	令和6年度甲賀市一般会計補正予算（第4号）
	議案第101号	市長	令和6年度甲賀市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
	議案第102号	市長	令和6年度甲賀市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
	議案第103号	市長	令和6年度野洲川基幹水利施設管理事業特別会計補正予算（第1号）
	議案第104号	市長	令和6年度甲賀市病院事業会計補正予算（第1号）
	議案第105号	市長	令和6年度甲賀市下水道事業会計補正予算（第1号）
その他	議案第106号～130号	市長	指定管理者の指定につき議決を求めることについて
	議案第131号	市長	市道路線の認定につき議決を求めることについて
	議案第132号	市長	甲賀広域行政組合規約の一部変更に関する協議につき議決を求めることについて
その他	議案第134号～135号	市長	財産の取得につき議決を求めることについて（追認）
意見書	意見書案第20号	西山	子ども福祉医療費助成の制度拡充を求める意見書の提出について
	意見書案第21号	中島	保護司の安全確保および人員確保策を求める意見書の提出について
	意見書案第22号	北田	学校給食の安定供給に向けた国の支援を求める意見書の提出について
	意見書案第23号	橋本(恒)	北方領土問題の早期解決等を求める意見書の提出について

賛否の分かれた議決結果

○…賛成、●…反対

議案等の名称			会 派 名																						結果		
	提案者	討論	凜風会						自由民主党誠翔会						公明党		日本共産党			無党派							
			出口 雅之	西田 忠	瀬古 幾司	西村 慧	林田 久充	橋本 恒典	谷永 兼二	田中 新人	橋本 律子	北田 麗子	中島 裕介	奥村 則夫	小倉 剛	田中 喜克	戎脇 浩	木村 眞雄	堀 郁子	西山 実	岡田 重美	山岡 光広	村木 慶太郎	福井 進		糸目 仁樹	
公共施設使用料（据え置き分）の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例の制定について	市長	岡田	戎脇	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	可	
甲賀市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について	市長	西山	瀬古	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	可
甲賀市コミュニティセンター条例の一部を改正する条例の制定について	市長	岡田	谷永	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	可
物価上昇に見合う老齢年金等の改善を求める請願	請願者	木村	山岡	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	○	●	不	
企業団体献金の全面禁止を求める意見書の提出について	山岡	奥村	西山	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	○	●	否		
女性差別撤廃委員会による勧告を受けとめ、選択的夫婦別姓制度の速やかな導入を求める意見書の提出について	岡田	小倉	山岡	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可	

※田中将之議員は、議長のため採決に加わらない

市長選後初の代表質問 市長の所信表明に対して政治姿勢、 施策について各会派が問う



市長 岩永 裕貴

12月定例会の冒頭、各会派の代表質問が行われました。今定例会の代表質問は、市長選後初の議会となるため、11月8日の臨時会で示された岩永市長の所信表明に対して、11月26日に各会派の代表が、市長の政治姿勢や施策などについて質問しました。主な質問と答弁の骨子を紹介します。なお各会派の持ち時間は、30分の基本に議員数×3分を合計したものです。

各会派の持ち時間は
基本30分に議員数×3分です。



凜風会	57分
自由民主党誠翔会	48分
公明党	39分
日本共産党	39分

各会派による代表質問

自由民主党誠翔会 おくむら のりお 奥村 則夫	1 選挙について	
	2 市長が考える「次の20年をつくる」と第2次総合計画第3期基本計画について	
	3 市長が進めなければならないと考える重点項目の4点について	
	4 甲賀市の「次の20年をつくる」ために掲げた20分野58施策について	
	5 令和7年度予算編成に向けた考え方について	
凜風会 せ りくじ 瀬古 幾司	1 この4年間で進めなければならない4点について	
	2 公約とされた20分野58施策について	
	3 まちづくりの新たなポイントとされた「新しい豊かさ」、「甲賀らしさ」、「暮らしの余白」、「若者・子育て世代に選ばれるまち」について	
日本共産党 やまおか みつひろ 山岡 光広	1 総選挙の結果について	5 所信表明の基本について
	2 市長選の結果について	6 具体的な施策として掲げられた3つの点について
	3 市民の政治参加促進・投票率向上のために	7 災害に強いまちづくりについて
	4 地方創生について	
公明党 ほり いくこ 堀 郁子	1 市政運営の基本姿勢について	6 道路・都市形成について
	2 若者支援政策のパッケージ化について	7 子育て支援について
	3 「新しい豊かさ」の実現に向けて	8 教育環境の整備
	4 高齢者・障がい者支援	9 行財政改革の推進
	5 防災・減災対策	



凜風会

瀬古 幾司



「市長3期目の所信表明を受けて」 1.この4年間で進める4点について

質問

①敢えて4点について言及した意図は。②地域共生社会の実現について今後の展開は。③公共施設の合理化の方向性は。④未来への投資としての貴生川駅周辺の再開発の現状と方向性は。⑤市役所力の強化とは。

回答

①次の20年へ向け、3つのテーマ、「子育て・教育」「地域経済」「福祉・介護」をさらに進めるため4つのポイント「地域共生社会の実現」「公共施設の統廃合」「未来への投資」「市役所力の強化」を示した。②家族・地域の地縁・血縁の強みに加え、社縁や第4の縁を連携させ、「つながり」や「居場所づくり」が風土となる地域共生社会づくりを推し進める。③公共施設等総合管理計画に基づく施設総量の縮減に取り組む。特に使用目標年を超える施設は令和10年度末までに成果と方向性を示す。④今年度、需要・マーケット・ポテンシャルの検証中で、今後において、ハコモノ整備ではなく、官民連携によるまちづくり、「使う」視点を重視し持続可能なまちづくりを目指す。⑤市民サービスの質向上のため、職員個々の能力・資質の向上と時代の変化に応じた組織体制の構築を進める。

2.公約とされた施策の中から

質問

①区・自治会と自治振興会の関係性は。②新名神甲賀工業団地の今後の取組と課題について③シティープロモーションの強化に向けた戦略とは。④疾病予防と高齢者のいきがいづくりの取組は。

回答

①区・自治会は、ご近所の見守りや伝統文化の継承などに取り組む自主的組織で、自治振興会は、単独では困難な課題に取り組み、対話や議論を重ねる協議体である。両者の役割分担と合意形成がなされる仕掛けを取り込み、自治振興交付金を活用されるよう制度見直しを進めた。②2期整備地の事業者を募る公募型プロポーザルは、問合わせはあったが、応募に至らなかった。市街化区域に編入後、改めて再実施に向け検討する。③情報発信の一元化、新たなルールや仕組みづくり、職員の広報マインドの意識改革、メディア対応など検討し、「広報戦略」を策定する。④市の検診制度のさらなる周知と「健康こうか21計画」による自然に健康になれる環境づくり、健康への意識醸成とともに、誰もが身近な地域で、楽しみながら健康づくりができるよう取り組む。

3.まちづくりの新たなポイントについて

質問

まちづくりの新たなポイントとされたキーワードについての思いと説明を。

回答

すべての施策と事業により生み出す経済的・時間的なゆとり「暮らしの余白」を、叶えたいライフスタイルで埋めていく「甲賀スタイル」な暮らし方の実現を目指す。



自由民主党誠翔会

奥村 則夫



選挙について

質問

①公約等を示せなかったことにどう対応するのか。②近隣市町とその枠組みを超えて、問題解決が必要との旨の発言の真意は。

回答

①私が熟慮し4年間で実行する政策を市議会や市民の皆様へ伝え、スタートすることが大変重要と考える。20分58施策を、責任を持って実行し「若者・子育て世代に選ばれるまち」の実現に向け、着実に施策を進め、成果を追求していく。②超高齢化社会、少子化による人口減少社会では、それぞれ自治体の特性を補完し合い、相乗効果を発揮し、単独の自治体では解決できない課題を広域的な視点で取り組み、解決につなげることも大変重要である。

市長が考える重点項目の4点について

質問

①地域共生社会の推進で、多文化共生の地域づくりは。②公共施設の合理化で(1)公共施設等総合管理計画を計画どおりか、前倒して進めるのか。(2)こどもを中心に考えた小中学校再編計画を4年間で再編の実行と決意は。③未来への投資で(1)名神名阪連絡道路の早期事業化は。(2)貴生川駅周辺特区構想は。(3)水口中心市街地再整備は。④市役所力の強化で、行政組織の再構築は。

回答

①地域共生社会の実現とも目的は同じであり、するためには自治振興会との連携が必要。②(1)第1期行動計画の実施に加え、第2期も実施時期の前倒し等の見直しを行い、目標の達成に取り組む。(2)こども達の可能性が、最大限発揮できる教育環境の整備を、これからの4年間で、着実に推進する。③(1)11月20日には第2回有識者委員会が開催され、事業化に向けた動きは着実に進んでいる。早期実現に向け、さらに国等関係機関へ要望していく。(2)官民連携を行いながら段階的・連鎖的にまちづくりを展開する。防災の強化は浸水被害の軽減に向け取り組む。アクセス環境の整備は市道水口北内貴線と市道虫生野希望ヶ丘線の新設道路整備実施。(3)選ばれるエリア形成プロジェクトに位置付け、エリアの将来ビジョンを策定し、次年度以降着手。④行政組織の在り方を抜本的に見直し、令和8年度の組織改編を検討し、市民サービスの更なる向上に、職員一丸となって取り組む。

令和7年度予算編成に向けた考え方について

質問

①令和7年度予算編成のポイントは。②合併特例債終了後の投資的経費の歳入確保と積極的な投資の必要性は。

回答

①特に進めなければならない新たな4項目の視点を踏まえ、市民ファーストの目線で予算編成に努める。②20年先を見越した未来につながる投資・施策構築を掲げ、戦略的に、積極的に進めていく。



公明党

堀 郁子



若者支援政策のパッケージ化

質問

①公共交通政策：夜間公共交通への対応、ライドシェアの検討、第2種運転免許取得支援制度について伺う。②若者の就労支援：パーソル総合研究所の調査から「20代の就労意識は働きやすさや成長機会を重視する傾向。精神的負担の増加。ハイパフォーマー層ほど早期離職リスクが高い。」高校・大学との就職支援連携、コワーキングスペースの整備、サテライトオフィスの誘致、リカレント教育支援、若者向けキャリア相談について伺う。③コミュニティ形成支援：シニア世代との交流プログラム、地域活動への若者参画、異世代間メンタリング制度、専門職との定期的な対話の場について伺う。④教育費負担の軽減について：奨学金返還支援制度に本人が借りた教育ローンの支援・対象職種の拡大について伺う。⑤若者の結婚支援：マッチングアプリによる恋人成立は5割弱、結婚率も高く、逆に離婚率は低い。連携自治体も増加、市の考えを伺う。⑥移住・定住促進：移住支援金の給付実績、定着状況、空き家バンクの運営改善、リフォーム補助制度の拡大、所有者との連携体制の強化、お試し移住制度について伺う。

回答

①今年度中にライドシェア等の実証実験を行う。第2種運転免許取得支援制度など運転手確保に対応。②市内高校とイクボスKOKAネットワーク加盟企業、市の3者でインターンシップ受け入れや就職支援等の意見交換。工業系企業7社の地域一体型オープンファクトリーに36人の高校生大学生が参加。コワーキング施設3箇所、ワーケーション施設1箇所の整備。リモートワークやサテライトオフィスは誘致できず、リカレント教育支援・若者向けキャリア相談は市ではない。③世代間交流の促進策、専門職との定期的な対話の場は研究。④教育ローン返済への支援は特別交付措置の対象外。本人が債務者でも財源確保が難しい。対象は現行。⑤検討を進める。⑥6世帯定着、520万円給付。空き家バンク制度はR5年度26軒の成約。企業バンク空き家紹介制度を創設。リフォーム補助制度は現行。連携体制は意向調査の実施や法律相談会の開催。お試し移住制度は昨年5月から8組19名の入居実績、うち1組が購入。

多文化共生の推進

質問

就労・生活支援体制の強化、コミュニティ通訳制度、多言語防災情報の整備、住宅確保支援、国際交流協会への支援拡充について伺う。

回答

法律や医療の専門家による相談会や就労に係るマッチング支援などを予定。コミュニティ通訳は制度設計に取り組む。あいこうが緊急メールは10か国言語に対応。ピクトグラムの導入を検討。住宅確保支援は滋賀あんしん賃貸支援事業に改善要求。協会の人員体制や財源の強化など拡充。



日本共産党

山岡 光広



無投票市長選の結果について

質問

8年前の初当選時に掲げられた「4期は長すぎる」という認識は今も変わらないのか。今後、国政への出馬・復活は視野にあるのか。

回答

まだまだ伸び代のある甲賀市を若者や子育て世代を中心とした本市の将来を担う世代から「選ばれるまち」にするために、全力で取り組む。この4年間の市政運営に全身全霊で取り組む決意であり、それ以外のことは念頭にない。

「子育て・教育」「地域経済」「福祉・介護」の施策について

質問

①所信表明で「児童クラブの充実」を掲げている。新年度、甲南地域は、定員を上回る入所希望がある。来年4月で「待機」を生み出さないために緊急対策が必要ではないか。②学校図書館整備。現在中学校図書標準冊数達成は0%なのに令和10年目標は100%となっている。目標達成のためには特別の予算化が必要。③住宅リフォーム助成は、業者からも市民からも喜ばれている施策。15年近く経過しているので、「再度の申請」も認めてほしい。④加齢に伴う難聴者を対象に補聴器購入補助ができたが、対象が市民税非課税世帯、補助額も2万円。所得制限をなくし補助額の増額を。⑤75歳の誕生日に「おめでとう」のメッセージをつけて「人間ドック助成券」をプレゼントしたらどうか。

回答

①待機の心配なく安心して利用いただくことができるよう、民間活力の推進など計画的な体制整備を進めていく。②新たな書籍の購入だけではなく、適切な除籍も行いながら、市の推進計画で指標も設定して国の示す100%に近づけていきたい。③一般や福祉枠は、本年度も予算額を上回る申し込みがあった。現行の取り扱いを継続していきたい。④今年度から実施し10月末まで10人が利用。補聴器の使用状況や社会参加の状況についてアンケートを実施、事業効果を検証したうえで制度改正を検討したい。⑤広域連合に意見を伝えたい。県内市町と連携し、保健事業の拡充に努めたい。

市民の政治参加促進・投票率向上のために

質問

①年代別の投票率は。②「公報」届くのが遅い。③身近な投票所が一番。④不在者投票・在宅郵便投票の徹底を。

回答

①期日前投票をされた15685人を世代別にみると、10代12.6%、20代12.36%、30代15.75%、40代17.86%、50代22.99%、60代30.84%、70代32.85%、80代以上17.02%。②できる限り早く手元に届くよう努める。③身近な投票所は投票環境のひとつ。投票しやすい環境の構築と安定的に持続可能な投票所をめざすことが肝要。④福祉部局と連携し不在者投票の制度案内をしていくことを検討する。

17人の議員が 市の考えを問う

第5回定例会の一般質問が12月9・10・11日の4日間に渡って行われ、17人の議員が質問しました。
質問と答弁を要約した内容を通告順に掲載します。

きむら まさお 木村 眞雄	1 地域と共に歩む学校づくりをめざして ～コミュニティスクールおよび地域学校協働活動の推進に向けて～ 2 ライドシェア導入による地域交通の活性化に向けて 3 高齢者支援の充実に向けて ～緊急通報システム事業の現状より～ 4 道路交通法改正にあたって、市民への啓発について ～自転車の「ながらスマホ」の罰則強化～
いとめ まさき 糸目 仁樹	1 小水力発電売電で農業再生基金の設立を 2 ジビエ給食 給食センター改築で有害鳥獣買取りを
たなか よしかつ 田中 喜克	1 市内・総合型地域スポーツクラブの現状と課題、甲賀市の支援の状況について 2 「公共施設等総合管理計画・施設の最適化計画」推進の現状と課題 そして、今後のより積極的な取り組み方針、方策は 3 貴生川小学校児童の安全通学に、仙川架橋の歩行者専用橋を 4 災害非常時に備え、水口学校給食センター跡地に「ドクターヘリ」発着場の整備を 5 大規模災害の緊急避難場所として 水口スポーツの森に「全天候型間伐材活用ドーム」の整備を
ふくい すずむ 福井 進	1 一時預かり保育事業の無償化について 2 病児・病後児保育事業の民営化について 3 未執行となった困窮・ひきこもり・青少年就労支援について
なかじま ゆうすけ 中島 裕介	1 甲賀市隣接14自治体との連携について 2 本市におけるイベント等の年間事業計画について
たになが けんじ 谷永 兼二	1 熊の出没に対する対策について 2 スポーツによる地域活性化・地域スポーツコミッションの可能性は 3 進めてきた発達障害児(者)支援の現状及び効果と課題は
おかだ しげみ 岡田 重美	1 訪問介護事業への支援について 2 子どものインフルエンザ予防接種費用助成について 3 道の駅あいの土山のリニューアルオープンに向けて 4 国道307号信楽長野バイパスの早期開通を求める
にしむら けい 西村 慧	1 市内のこども向け屋内施設について 2 持続可能な都市経営(コンパクトなまちづくり)について 3 AIイベント情報集約サービスについて
にしやま みのる 西山 実	1 大阪・関西万博への教育旅行について その2 2 野洲川氾濫時の梅の木地域の避難誘導と氾濫を防ぐ堤防の設置について 3 子どもの通学安全対策における地域の要望について 4 松尾地域の市道の法面の除草について
はしもと りつこ 橋本 律子	1 行政運営の新たな視点について 2 地域共生社会の実現のなかで若者の就労・自立支援を
でぐち まさゆき 出口 雅之	1 貴生川駅周辺整備基本構想の進捗状況について 2 地域経済応援クーポンの実施による経済効果について
にしだ まこと 西田 忠	1 廃プラ事業所への継続的な監視と適切な指導を 2 能登復興現場で学んだ現実から考える被災への備え
たなか あらと 田中 新人	1 スマート農業による省力化、人手の確保、負担の軽減対策 2 環境未来都市(ゼロカーボンシティ)の実現について 3 甲賀市政におけるSNS等の活用について
むらき けいたろう 村木 慶太郎	1 市の産業経済対策に対する姿勢について 2 ロケツーリズムの推進事業に対する市の考え方について
きただ れいこ 北田 麗子	1 女性活躍推進と男女共同参画について 2 女性の草刈り参画について
はしもと ひさのり 橋本 恒典	1 甲賀市の都市計画について 2 安定型産業廃棄物最終処分場建設計画について 3 公立甲賀病院周辺の渋滞対策と安全対策について
えびさわ ひろし 戎脇 浩	1 市民のための市役所力の強化 2 市民に安心を与える常備消防へ

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。



自由民主党 誠翔会

たなか よしかつ
田中 喜克



貴生川小学校児童の安全な登下校に、 杣川に歩行者専用橋の架橋を

質問 日々危険と隣り合わせの貴生川小学校児童の安全な通学のため杣川に歩行者専用橋を。

回答 登下校時の北杣橋、三本柳区内の通行は、大変な込み合い、狭あいな道路状況で危険と隣り合わせと認識している。通学路等の安全を確保するため、「杣川歩行者専用橋」の整備を検討事業化に向けて進める。整備時期は「貴生川駅周辺整備基本構想」の交流拠点施設の整備時期に合わせて進捗を図る。

市内の総合型地域スポーツクラブに 物的・人的の支援を

質問 スポーツクラブは献身的指導者の尽力で活動が行われている。市内クラブの現状と市の支援の状況はどのようか。

回答 市内には9つのクラブが結成され、会員数は約1500人で、各層各種目のクラブ活動が展開されている。事業運営は会員の会費収入や、市県の事業委託で賄われている。市では活動補助金交付やクラブハウスの確保、公共施設の使用料免除、人的協力等を行い支援している。



無所属

ふくい すずむ
福井 進



保育士増員で充実した保育を

質問 ①一時預かり保育の無償化等による利用者の急増への対応。②病児・病後児保育の民営化による利用期間の縮減への対応。③『保育の質』の向上に対する市長の思い。

回答 ①提供体制や申込方法等の改善で仕事や入院等による利用への対応を図る。②利用期間の拡大や施設の増設等を検討する。③生涯にわたる人格形成の基礎が培われる重要な時期であり、保育内容・保育環境の改善と共に、保育人材の確保に取り組む。

未執行となった事業への再挑戦

質問 ①大学等授業料補助事業(困窮支援)。②就労支度金補助(ひきこもり支援)。③青少年資格取得支援事業。④困窮・ひきこもり等の課題解決に向けた市長の思い。

回答 ①世代間の貧困の連鎖の解消に向けて継続的な支援に取り組む。②事業所等との一層の連携を図ると共に支援の届いていない方への働きかけを進める。③対象となる資格や事業対象者の拡大について検討する。④失敗を恐れずに何度でもチャレンジできる仕組みづくり等、市民と共に取組を進めたい。



公明党

きむら まさお
木村 眞雄



今後の健康推進員の募集のあり方について

質問 今後の推進計画はどうか。

回答 地域学校協働活動推進員や社会教育統括指導員、社会教育指導員が連携して、各学校や地域へ伴走支援をしている。今後も継続して支援に取り組む。

ライドシェア導入による 地域交通の活性化に向けて

質問 ライドシェア導入に向けての市長の見解は。

回答 地域公共交通を維持するには、ライドシェアの活用は必要不可欠。今年度中に、県と連携して導入に向けた実証実験や調査検討を進める。

高齢者の見守り支援について

質問 ①単身高齢者が増えている現状についての認識は。②この制度のアップデートが必要と考えるが。

回答 ①単身高齢者は暮らしや体調面で不安を抱えられている場合が多く、緊急通報システム事業の見直しや現状に即した対応が必要。②高齢者のニーズに合った利用しやすい施策となるよう、利用要件緩和に伴う事業費の試算など、本事業の見直しについて検討する。



無所属

いとめ まさき
糸目 仁樹



市内で2億円以上見込める 小水力発電売電収入で農業再生基金の設立を

質問 市内水源で小水力発電所を建設した場合の売電収入はいくらか。また、それを積立て農業再生のための基金にできないか。

回答 想定する設備容量により固定買取価格は変動するが計7地点で年間最大2億1580万円の試算になる。国庫補助制度を活用した場合、売電収入の用途制限など課題も多い。提案内容を念頭におき、先進的事例等を参考に調査研究する。

ジビエ給食 給食センター改築で有害鳥獣 買取りの仕組みにより猟師負担軽減を

質問 捕獲された有害鳥獣の食肉を学校給食センターで買取る仕組みを作れないか。獲物の埋設処理等の負担が重い猟師に、労力・経済的に大きな負担軽減になり、給食の質向上・給食費削減にも繋がる。

回答 学校給食への活用は、衛生面での法に基づく施設改修と許可が必要。解体技術等を有する人材や一定の量と質の確保等、現時点では困難。ただしジビエは栄養価に優れ児童・生徒の地域課題や地産地消への理解が深まるため、先進事例を参考に調査、研究をする。



日本共産党

おかだ しげみ
岡田 重美

訪問介護事業への支援について

質問

①今年4月からの訪問介護報酬引き下げによる影響について、市内事業所の実態調査を行うべき。②移動時のガソリン代やコロナ対策に支援を。③介護職の給与は全産業平均より月額6万円も低い、市独自に処遇改善対策を。

回答

①事業者と意見交換等を通じ実態把握に努める。②国の対策が審議されており動向を注視していく。③市が取り組んでいる家賃や研修費等の補助を継続していく。

道の駅あいの土山 リニューアルオープンに向けて

質問

工事が遅れている理由は。オープンは4月と聞いていたがいつ頃になるのか。

回答

大阪・関西万博や大型店舗の工事による技術者不足等。令和7年夏ごろの予定。

国道307号長野バイパスの早期開通を

質問

①長野・江田間の完成予定は。②全区間の早期開通に向け県・国へ働きかけを。

回答

①令和9年度末を予定。②県・国に要望活動をしている。引き続き積極的に行っていく。



凜風会

にしむら けい
西村 慧

こども向け屋内施設について

質問

①公設の屋内遊戯施設が少ない中で民設施設の利用補助を。②水口スポーツの森への早期の整備を。

回答

①今後、検討していく。②再整備の最優先事項であり、整備に向けた検討を進める。

持続可能な都市経営について

質問

①コンパクトなまちづくりについての所見は。②今後、誘導施策に特に注力していくエリアは。

回答

①生活利便性の維持、行政経費の縮減となり、持続可能な行政運営を行う上で、極めて重要である。②水口地域中心市街地や甲南町寺庄地先に注力しているが、今後、地域拠点かつ交通拠点でポテンシャルを秘めた貴生川駅周辺を考えている。

AIイベント情報集約サービスについて

質問

①導入経緯と運用の仕組みは。②現カテゴリにはない、市民に必要な「医療・介護・福祉」情報の追加を。

回答

①令和4年4月から多数のWEBサイトに散在している市内イベント情報についてAI技術を用いることで集約化したサイトを開設した。②市民ニーズに合わせて、サイトの構成変更を検討していく。



自由民主党誠翔会

なかじま ゆうすけ
中島 裕介

本市におけるイベント等の 年間事業計画について

質問

①現在取り組んでいる事業数について伺う。②行政によるイベントの必要性を再確認すべきと考えるがどうか伺う。③イベントが重複しているがその調整は誰が行うべきか伺う。

回答

①各部局や出先機関、関係団体などが、それぞれに事業を実施しており、主催や共催として行う主要なものだけでも数十件にのぼる。その規模は、多岐にわたることから、全体的な把握や集計が困難な状況。②開催自体が目的化している、人件費も含めた費用対効果が低い、職員のワークライフバランスや通常業務に支障がある、などのイベントについては、見直しの必要があるものと認識。そのうえで、市民ニーズの高い事業に予算や人的リソースを振り分けるためにも、行財政改革や労務管理の視点を持ち、改めてイベントの必要性及びリニューアル、統廃合の可能性などを検討。

③市が実施するイベントについては、予算編成作業や事務事業評価などの機会を通じ各部局で見直しを行うとともに、部局を跨ぐものは総合政策部や総務部が調整に当たるなど、市全体での改善に取り組む。



凜風会

たになが けんじ
谷永 兼二

熊の出没に対する対策は

質問

熊に遭遇した場合に取るべき行動は。

回答

熊を見ながらゆっくりその場から後ずさりするなど、大声を出さずに落ち着いて、距離をとる。遭遇しないよう鈴やラジオなどの音を出すもので熊に事前に知らせる。

スポーツによる地域活性化・ 地域スポーツコミッションの可能性は

質問

①民間団体やクラブチーム、アスリートへの支援状況は。②交流人口増やまちづくり、地域活性化、地域課題の解決の意味からもスポーツコミッション体制の取り入れは。

回答

①スポーツ協会を通じて協会加盟団体による各種大会の開催や活動への支援を行い、競技スポーツの振興に努めている。今後の取組は、例えば、甲賀市を拠点にプロを目指す選手やチームとの連携も検討していく。

②スポーツ文化の基盤を強化し、経済、健康、観光、地域の一体感といった多方面に利益をもたらす、非常に価値のある仕組みになると考える。まずは先進の事例を研究しながら、市外、県外から誘客が見込めるゴルフ事業や各種スポーツ事業などの充実を図る。



凜風会

でぐち
出口

まさゆき
雅之



貴生川駅周辺整備基本構想の進捗状況について

質問

①「貴生川駅周辺整備基本構想」の目的と効果は。②成果と反省点は。③社会実験をいつまで続けるのか。④当初計画よりも遅れている原因は。

回答

①「人口流出を留める機能の強化」、「魅力ある地域づくりによる流入人口の増加」や「交流拠点の整備によるエリア価値の向上」などの実現。②商業ポテンシャルや賑わいの創出といった成果。一方平日には創出ができなかった点、周知方法。③結果や事業の進捗状況を踏まえて検討。④行動計画を見直したことが当初より遅れている原因。

地域経済応援クーポンの実施による経済効果について

質問

①その成果はいかほどであったか。②結果に対する費用対効果は。③この事業の費用の内訳は。④アンケートや聞き取り調査は。⑤今後の課題と実施予定は。

回答

①消費の落ち込みに対して一定の効果があった。②172%以上の結果が得られた。③郵送料や印刷費などの事務費。④好意的なご意見の他、限定利用の撤廃や換金の手間などのご意見もいただいている。⑤デジタル化の検討が必要。今後は事業者への対策事業を検討。



凜風会

にしだ
西田

まこと
忠



廃プラ事業所への継続的な監視と適切な指導を

質問

2年前の一般質問で伴中山・春日間の廃プラスチック再生工場について適切な指導をお願いした。しかしながら、事態は改善するどころか、ますます多くのフレコンバッグが野ざらしの状態でうずたかく積み上げられている。監視と指導をどの程度行っているのか。

回答

滋賀県甲賀環境事務所等の関係機関と連携した現地確認や事業者への聞き取りを行い、必要な場合には関係法令に基づいた指導をしている。

能登復興現場で学んだ現実から考える被災への備え

質問

能登半島の民間災害ボランティアを体験し、復興の遅れと人手不足を実感した。甲賀市の被災への備えという観点から当局はこの問題をどう考えるのか。

回答

ボランティアに活動いただくため、被災地へのインフラや活動拠点の確保、受援体制の整備などの環境を整えることが重要であり、加えてボランティアに支援の必要性についても、メディアやSNSなどを活用し情報発信することが重要であると認識した。



日本共産党

にしやま
西山

みのる
実



大阪・関西万博への教育旅行について

質問

①大阪・関西万博の教育旅行の参加予定は。②熱中症対策、警報時の避難場所の確認など、教育旅行としての安全確認を。

回答

①下見を前提に小学校4校、中学校4校が計画しているが、実施を決定しているものではない。②最終的な実施の判断は、会期中の下見を含めて安全対策を確認した上で行われるべきであり、しっかり見届ける。

子どもの通学安全対策における地域の要望について

質問

甲賀市では、「甲賀市子どもの移動経路安全プログラム」に基づき毎年各学校3件ずつ危険箇所を特定し、道路の改良、歩道のカラー化、注意喚起看板設置、路面標示等を実施している。①地域からの通学路の危険箇所に関する要望について、合同点検に反映させるための連携を。

回答

②危険箇所に対して、対策実施後の検証は。
①各地域の小学校や中学校に直接伝えていただいており、できる限り合同点検に反映している。②対策実施済みとなった箇所も、必要に応じてその後の検証を行い、子どもの移動経路安全対策連絡会で確認している。今後も対策内容の改善・充実・検証を図る。



凜風会

はしもと
橋本

りつこ
律子



総選挙での事務課題実態と改善部局を超えた良好な仕組に努める

質問

①マニュアルフローのあり方とリスク回避手順・一元管理の考えは。②職場間のコミュニケーションも重要だが。

回答

①職員コンプライアンス行動指針・行政手続き審査基準等を定め統制を図っている。現場でのリスクは変わっていくため、各自が緊張感を持ってチェック・フォローしあうことが必要。②外部との連携努力・現場の緊張感を持って、再発防止のリスクマネジメントを向上させたい。

地域の担い手に若者就労・自立支援も市独自の若者応援体制の構築を考える

質問

①働く機会創出に、自治会・企業・行政・家族の総合支援を企画出来ないか。②法人等による規約内の助け合い(有償)制度と連携するの。③社協による互助制度(フードバンク)など有志の生活支援居場所づくりへの参加体験になるが。

回答

①具体的で分かりやすい役割・時間を示し、参加を促し自信に繋げる。広域参加も視野に。②地域のニーズに応える連携した取組も進めたい。③社会参加できる支え手・担い手の育成も含め応援していきたい。



自由民主党誠翔会

きただ れいこ
北田 麗子

女性活躍推進と男女共同参画

質問 ①現在の課題。②今後のビジョン。**回答** ①月経・更年期などの他、妊娠・出産などのライフイベント、メンタルヘルス等の健康課題。また性別固定概念、就業・組織意思決定参画などの課題がある。

②誰もが様々な分野に参画し、チャレンジができるまちづくりを進める。またアンコンシャス・バイアスの解消にも努める。

女性の草刈り参画について

質問 住民自治観点においての所見は。**回答** 地域における担い手が不足する中女性が草刈りをはじめとする地域活動に積極的に参画することは、これまでのジェンダーバイアスを取り除くだけでなく、草刈りの活動内容及び運営方法の見直しや、子どもたちに「性差に関係なく地域に貢献できる」姿を示すことができるなど、地域への愛着と責任感を育むだけでなく、持続可能な地域づくりに結びつくものと考えている。

凜風会

たなか あらと
田中 新人

スマート農業による省力化、人手の確保、負担の軽減対策

質問 ①労働力の確保対策は。②全農家がスマート農業を利用できる環境対策は。③スマート農業の今後の展開は。④スマート農業分野の情報は。⑤プラスチックを使用した被覆肥料は。⑥スマート農業技術の活用促進に関する法律は。**回答** ①農業の魅力を高め土地持ち非農家の方を対象にした講習会や研修会などを開催しニーズに応じて興味を持っていただく仕組みを検討する。②将来の目標を定め認定農業者向けに市単独事業でスマート農業機械導入補助を行っている。③スマート農業機械導入補助は、野菜や果樹栽培にも活用可能な事業となっている。④市としても、国、県などの関係機関との連携を密にスマート農業技術に関する最新の技術や知識を絶えず更新できるよう情報収集に努める。⑤次年度からプラスチック被覆肥料は使用不可となるため、流出防止対策の実施並びに代替え技術の転換が進められている。⑥革新実施計画を立てることで低金利融資や機械取得時の特別償却など一定の負担軽減につながる。

凜風会

はしもと ひさのり
橋本 恒典

甲賀市の都市計画について

質問 市の都市計画に対する基本的な考え方は。**回答** それぞれの地域の特性やポテンシャルを活かしながら、しっかりした都市計画に基づいてまちづくりを進めていくことが肝要と考えている。

産業廃棄物最終処分場建設計画について

質問 ①民間による最終処分場の概要は。②今後の予定は。**回答** ①計画されている最終処分場は安定型産業廃棄物の最終処分場で、南土山地域に計画されている。②事業者が作成された計画段階環境配慮書で示されているスケジュールでは、本年度から令和9年度の間で環境影響評価及び設計を行い令和10年度には準備工に着手することが想定されている。

公立甲賀病院の渋滞対策と安全対策

質問 ①渋滞の現状について伺う。②今後の対策は。**回答** ①午前8時頃に病院入り口の右折だまりが渋滞しコミバスの運行に遅延が生じる場合がある。②甲賀病院において駐車場設備の改善を検討中で、職員と患者の混在解消に向けた対策について甲賀病院と検討する。

無所属

むらき けいたろう
村木 慶太郎

市の産業経済対策に対する姿勢について

質問 ①市の産業経済をどのようにすれば発展し、税収増加になると考えるか。②人手不足の対策は。③外部専門家の招聘による政策の推進は考えておられるか。**回答** ①市内事業者の「稼ぐ力」を高める取組を、商工会や事業者と連携し、推進していく。②事業者ニーズを把握し、次の一手を検討していく。③外部専門家、商工会等の支援機関に関わっていただき、ご意見をいただいている。

ロケツーリズムの推進事業に対する市の考え方について

質問 ①ロケーション推進による経済効果は。②ロケ誘致には適した人材の確保が必須だと考えるが現状は。③今後ロケーション推進事業によってどのようなことを目指すのか。**回答** ①一時的な直接的経済効果はあるものの、地域へ幅広く還元できる持続的な仕組みづくりには至っていない。②4つのプロジェクトを立ち上げており、情報発信強化や新たなロケ誘致、ロケ地環境整備を進める。③観光誘客やシビックプライドの醸成、「映像のまち甲賀」としての、シティプロモーションに繋げていきたい。

市議会ってどんなところ？



定例会、臨時会は市役所5階の議場で行われます。どなたでも傍聴可能ですので、一度傍聴してみませんか？



豆知識

音声の聞き取りづらい方には、議場の音声を聞き取りやすくする専用の機器もお貸ししています。



自由民主党 誠翔会

えびすわき ひろし 戒脇 浩



市民のための市役所力の強化

質問

ラスパイレス指数が県内市では最低。市役所力は職員力だと考える中で、給与水準や福利厚生、やりがいを高める必要があるのではないかと。

回答

指数は年齢構成によるもので、給与は国に準じているが、早期昇格などやる気を引き出す取組により、改善を目指す。福利厚生はKOKOワークの加入なども検討する。

市民に安心を与える消防署へ

質問

消防本部(消防署)の増員計画が示されたが、元々人員が少ない中で、10年計画では不安が残る。消防本部(消防署)は市と別組織ではあるが、市民の安全安心のために、危機管理および財政当局の関りを深める必要があるのではないかと。

回答

市の危機管理当局としても、増員の必要性を感じており、計画を精査し市民の安全安心につなげる。また財政面では市の予算と同一の視点で編成し、必要があれば計画を前倒しするための予算確保を図る。



12月議会では、甲賀市議会史上初めて「追認」議案が3件も提案されました。異例のことです。議会議決を経ないで執行していたことが明らかになったものです。事態を重視して、田中將之議長が12月25日、岩永市長に下記のような緊急申し入れを行いました。

追認議案に関して市長に緊急申し入れ

緊急申し入れでは「事業の必要性和契約に係る混乱の回避等を勘案」して、3議案とも可決したものの、「本来議決に付すべき議案が提出されなかったことは、二元代表制の一翼を担う議会の軽視ともとらえられかねず」、「市の事務執行に対する市民の信頼を損なう重大な事案である」と指摘しています。そのうえで、①法令遵守の徹底による事務手続きの着実な実施と、チェック体制を確立することにより、さらなる事務執行の適切な運用に全力を挙げて取り組むこと。②職員・組織の意識改革を図り、再発防止に万全を期すること。

常任委員会

活動日誌

- 10月16日 調査 第2次甲賀市総合計画(第3期基本計画)実施計画の策定とパブリックコメント実施
報告 令和6年度地域リーダーとの意見交換会の開催結果など
- 11月21日 調査 甲賀市地域情報基盤施設の民間移行検討状況
報告 第2次甲賀市総合計画(第3期基本計画)実施計画の策定
令和5年度(繰越明許)公有財産購入における議会議決の未提案、令和7年度予算編成方針など
- 12月17日 報告 甲賀市地域情報基盤(施設・(株)あいコムこうか)の民間移行、旧鮎川小学校施設利活用事業の状況報告、自治振興交付金の見直しの方向性 など

所管事務調査

第2次甲賀市総合計画 (第3期基本計画)

◆実施計画の策定

第2次甲賀市総合計画・第3期基本計画の策定に伴い、主要な事業で構成する実施計画が策定されます。計画策定は「新しい豊かさ」を体現する「甲賀スタイル」を実現するために、人口減少対策に特化した5つの重点プロジェクトに基づいた事業を中心に構成します。

- ①若者・子育て応援プロジェクト
- ②子どもの可能性無限大プロジェクト
- ③選ばれるエリア形成プロジェクト
- ④企業連携・支援プロジェクト
- ⑤安全・安心のまちづくりプロジェクト

●実施計画は、議会協議等を行い、令和7年3月に策定予定で進められています。

報告事項

甲賀市地域情報基盤施設の民間移行検討・地域情報基盤(施設・(株)あいコムこうか)の民間移行

「情報の一元化」「情報伝達手段の確立」「情報格差解消」「安全安心情報の共有化」を目的に開始した甲賀市地域情報基盤整備事業は情報基盤(光ファイバーケーブル等)自体の大規模更新の必要な時期が迫っています。加えて、より一層の情報通信技術の高度化も進め求められるこの情報基盤を、市の全額負担で更新整備することは不可能との判断のもと民間移行(民間所有)を実施することとが最適と考えていました。

その上で地域情報基盤全体(施設・(株)あいコムこうか)について、令和9年(2027年)4月1日を目標に、「民間移行」を実施する予定です。

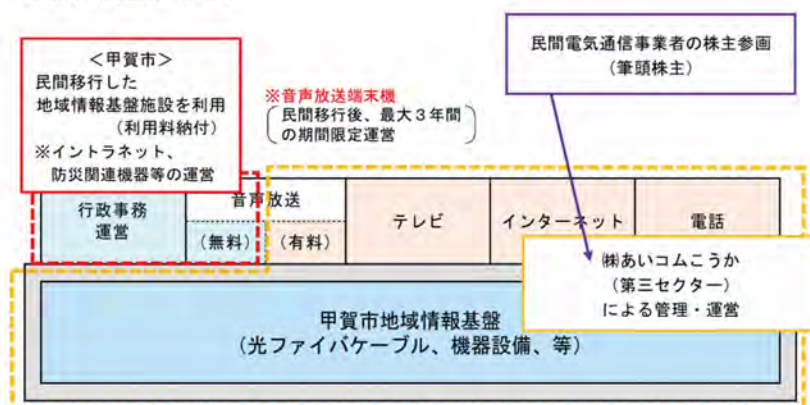
Q 情報基盤施設の民間移行、甲賀市の持ち株譲渡とは。
A 市の保有する株33.3%の大部分を譲渡し、民間電気事業者が

筆頭株主になって会社運営を行う。

Q 甲賀市内に多くある不採算地域の切り捨てを心配するが。

A 民間に移行されても、サービスの維持向上やケーブルの維持など、市民の皆様が困らないように民間事業者と「基本協定」を結び万全を期す。

民間移行の全体イメージ



活動日誌

- 10月22日 調査 病児・病後児保育等3つの無償化事業
報告 文化芸術振興条例（骨子）他
- 11月22日 調査 病児・病後児保育の実施状況について（現地視察）
第2次地域福祉計画（令和6年度見直し版）素案
第4次健康こうか21計画（素案）
子育て支援施設整備方針（素案）
第3期子ども・子育て応援団支援事業計画（素案）
第2次総合計画（第3期基本計画）実施計画
報告 こども家庭センター設置他
- 12月13日 報告 子育て支援施設整備方針（案）のパブリックコメント他



所管事務調査

病児・病後児保育等3つの無償化事業について

今年度から始まった病児・病後児保育、一時預かり保育、おむつ無償化の3つの無償化について10月22日に調査しました。

11月22日には現地視察も行い、10月から水口子育て支援センターから移行したみなくちこどもクリニックの現状を確認しました。

Q 病児・病後児保育利用の曜日と時間は。

時間は。

A 水曜日は休み、9時から17時までとなった。

Q 登録の条件は。

A 病院併設であるため診察を受け、そのまま利用が可能。

Q 初診が他の医療機関の場合、初診は生かされるのか。

A みなくちクリニックでの診察が必要となる。

11月22日には第2次地域福祉計画（素案）を始め5件の計画について調査しました。それらの計画は1月1日から1月31日までパブリックコメントが行われました。

報告事項

11月12日の委員会では信楽小学校改築工事のスケジュール等について報告がありました。その概要は次のとおりです。

●工期

（1期工事）

令和7年7月～令和9年3月

（2期工事）

令和9年4月～令和10年8月



信楽小学校の立面図（南側）

● 建築面積 4,831.05㎡
● 構造 R C造

● 事業費 約35億円
（地上2階・地下1階）

常任委員 産業建設委員会

活動日誌

- 10月23日 調査 道の駅あいの土山再整備の進捗状況及び増資
報告 貴生川駅周辺社会実験、水口町虫生野東部地区の都市計画決定、第3次甲賀市環境基本計画の策定にかかる答申など
- 11月11日 調査 第2次甲賀市総合計画（第3期基本計画）実施計画の策定
報告 獣害対策
報告 水口スポーツの森における施設整備の進捗など
- 12月16日 報告 2025年コミバス・コミタクダイヤ改正方針など

所管事務調査

道の駅あいの土山

再整備の進捗状況及び増資

工事の進捗状況並びに、リニューアルに向けて組織体制の強化、広報PR戦略、売り場づくり等の進捗状況を調査しました。

Q 物販・レストラン等売り場はすべて直営で実施するのか。

A 指定管理者による直営で予定をしている。多目的室を利用したチャレンジショップ、屋外広場のマルシェ等は事業者も予定している。

第2次甲賀市総合計画

第3期基本計画の実施計画

若者子育て世代に選ばれるまちを推進するために設定した実施計画49事業の中で、産業建設常任委員会に関する15事業について調査しました。

Q 市道維持管理事業について、4年間で予算や作業人員を増やすなどの方針はあるのか。

A 予算、人員を増やすことは、財政事情を鑑みると、現時点では

難しいと考えている。現状の予算の中で、発注の仕方を細分化

するなどして、よりタイムリーな対応ができるように検討している。

Q 貴生川駅周辺の整備については、

公共施設だけではなく、民間企業と連携して、商業施設を誘致しないと、駅の利用者は増えないように思うが、どのように考えるか。

A 公共施設は、あくまでこの事業

における起爆剤である。商業施設については、現在検討中の駅前市有地が小さいので、駐車場確保の問題も含めて、周辺地域全体で検討していく。

獣害対策について

獣害対策の現状と今後の対応について調査しました。

Q 侵入防止柵の耐用年数と獣害被害防止効果は。

A 耐用年数は14年、侵入防止の効果は大きい。部分的な補修は、修繕費補助で対応している。日常の管理が被害軽減につながっている。

報告事項

2025年コミバス・コミタク

ダイヤ改正方針について

当局が示す方針は次の通りです。

- 運転手不足、労働環境改善に対応するため、利用状況に応じた運行本数の見直し。
- 「全路線において、1便あたり概ね2人以下の便を廃止」「通学通勤で利用が多い路線を増便または車両サイズの変更」「自家用有償旅客運送（公共ライドシェア）導入に向けた実証運行」。
- 乗換接続の改善・道路渋滞などの実情に応じたダイヤ間隔の見直し。
- 駅からの2次交通の充実等、JR草津線の利用促進の実施。



市内を走るコミュニティバス

甲賀広域行政組合議会

令和7年第1回臨時会 1月16日

臨時会において、条例改正4件、補正予算1件が提案され、それぞれ全員賛成で可決しました。

湖南市長改選に伴い、松浦加代子氏が組合管理者に就任されました。また、議員欠員に伴う選挙で、新たに湖南市議会から永田誠治氏が当選し就任されました。

議案第1号

刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理等に関する条例の制定について

議案第2号

甲賀広域行政組合職員定数条例の一部を改正する条例の制定について

●消防職員数を204人から228人に増員

議案第3号

甲賀広域行政組合職員の給与に

関する条例の一部を改正する条例の制定について

議案第4号

甲賀広域行政組合会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

議案第5号

令和6年度 甲賀広域行政組合一般会計補正予算(第3号)

既定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ2409万6千円を減額し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ35億4158万9千円とする。



より開かれた議会へ!!
委員長・両部会長、
大いに語る

西村慧広報広聴委員長、西田忠広聴部会長、中島裕介広報部会長がこの1年を語りました。

西村 次の時代に向かう甲賀市議会として、議会改革の一環としても、今期から始動した「広報広聴機能」の基礎作りが最も重要であると考えます。

今任期の最終年度に当たる年だからこそ、「広報・広聴・ビジョン」を形

づくり「戦略的な推進に向けた基本的な体制」を整えたいと思います。広報では、SNS等の手法を実効的に活用、また、広聴では、市民の皆さんの意見等を議会として収集し、行政施策に反映することのサイクルづくりに注力したいですね。

中島 広報部会としては、任期一



左から、中島裕介、西村 慧、西田忠

年となりSNS活用にも取り組んでいきたいと思っています。議会活動の事後報告として紙媒体の『議会だより』にプラスして、議会をもっと市民に向けて発信するため、SNSでの事前告知等の導入を検討していきたいと思います。今後、委員長と共に「広報・広聴・ビジョン」の体制整備に取り組んでいきます。

西田 広聴部会としては、任期残り「広報・広聴・ビジョン」を確立すると同時に並行で、幅広い世代の市民の声をまんべんなく集める仕組みを実践したいと考えています。とある先進議会では「一般懇談会」「団体懇談会」「高校生懇談会」といった3本建てで世代を超えた声を集めていました。当市議会でもこれに準じた仕組みの確立が必要と感じています。



より開かれた市議会へ：甲賀市議会では12月19日、「議会改革キックオフ全議員研修会」を開きました。この日は、大正大学地域創生学部の江藤俊昭教授から「議会基本条例のねらいと今後の課題」と題して講演をいただき、全議員が学びました。現在、議会改革推進特別委員会を中心に、全議員が、甲賀市議会基本条例の逐条的検証をすすめています。江藤教授が指摘されたポイントを紹介します。

議会改革へ キックオフ



大正大学地域創生学部

江藤俊昭教授のポイント

●議会改革とは

地域民主主義の実現であり、地域住民の困っていることをよりよくすることである。定数や報酬を削減することが議会改革ではない。住民と歩むため、議員間討議を重視することが必要である。

●議員間討議について

地域経営における重要な権限は議会が持っている。重要な議案の審議のため参考人や関係者、専門家等と呼び議員間で議論を深め、討論をし、論点を明確化するために必要なものである。

●議員定数・議員報酬について

議員定数と議員報酬を一体で考えるものではない。議会力アップのために、議員定数は議案審議や提言のためにどれだけの議員が必要か、議員報酬は議会活動に伴ってどれだけの費用がかかるのかを議論し、住民へ説明する必要がある。次期の議会につなぐため、議論を続けていきたい。

●議会基本条例の見直しについて

この議会が住民福祉のためにどのような活動をしてきたのかを検証し、住民に説明し、次期の議会に申し送る役割がある。成熟度評価も1つの手法。議会基本条例の検証とともに4年間の検証をしてほしい。今後の展開に期待したい。

「甲賀市議会基本条例」を検証中

一問一答

Q.令和7年の抱負は？



村木慶太郎

無所属

初心を忘れず、自分らしさを大切にしながら、市民の皆様の幸せを念頭に、議員活動に取り組みます。



出口 雅之

凜風会

いつも市民目線で物事を見て考えて、そしてわかりやすい言葉を使うこと。



奥村 則夫

自由民主党誠翔会

市民の皆さんの話を聞く。現場を見る。多くの方と話す。をモットーに動き回ります。



田中 将之

公明党

議会改革を着実に進め、市民に開かれた議会運営と効果的な政策提言に取り組んでまいります。



福井 進

無所属

「こどもは未来！甲賀に進風を！」初心を忘れず、市民のみなさんと共に今年も歩み続けます。



西田 忠

凜風会

一つひとつの選択を通じ、誰もが希望をもって暮らせる街に「甲賀をデザイン」していきたいです。



小倉 剛

自由民主党誠翔会

減私奉公、皆様に学び、皆様と共に考え政治を身近なものと感じて頂けるよう邁進してまいります。



田中 喜克

自由民主党誠翔会

議員活動この8年を省みて「初心忘るべからず」、今年こそ新たな1歩を歩みたい。



西山 実

日本共産党

市民の困りごとにしっかり向き合い、だれ一人取り残されない市政実現のために全力をつくします。



瀬古 幾司

凜風会

議員としてしっかりと市民の声を聞くこと。また、議選監査委員としての役割をきっちりと果たします。



西村 慧

凜風会

今年、30歳の誕生日を迎えます。初心を忘れず、市民の皆さんのお役に立てよう研鑽に努めます。



戎脇 浩

自由民主党誠翔会

初心に戻りながらも、過去11年を振り返り、経験を最大限活用した任期最終年とする。



木村 眞雄

公明党

1期目最終年。さらに議員力を高めていき、活動の結果を具体的に残していくよう頑張ります。



糸目 仁樹

無所属

良い時も悪い時も常に笑顔を保たないように努めます。笑う門に福来る。



林田 久充

凜風会

議員として甲賀市の課題に行政と真摯に対峙し、議会としての監視機能などその役割を果たします。



谷永 兼二

凜風会

市民の皆様と共に成長できるまちづくりのために役割を全うできるよう全力を尽くします。



北田 麗子

自由民主党誠翔会

足どり軽く、心穏やかに、市政に向き合いたいと思います。



岡田 重美

日本共産党

市民の声、願いが生きる市政へ。みなさんと力を合わせて今年もがんばります。



橋本 恒典

凜風会

今年は秋に44年ぶりの国スポと障スポが開催予定。スポーツ健康都市をめざします。



田中 新人

凜風会

柏木コミュニティセンターが完成し安心・安全を柱に子供・女性・高齢者の居場所作りに取り組みます。



中島 裕介

自由民主党誠翔会

目に見える市政の情報発信に努め、俊敏且つ迅速な動きを心掛けます。



堀 郁子

公明党

市民のために議会が団結し良き市政になるよう頑張っていきます。



山岡 光広

日本共産党

議員活動5期20年の締めくくりの年。初心忘れず。地道にコツコツと粘り強くをモットーに。



橋本 律子

凜風会

国スポ・障スポ大会開催年。“オール甲賀”で取り組む力はすべてまちの発展に繋がります。よき応援を！！

3月定例会の予定

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
2/9	10	11	12	13	14 本会議 (第1日)	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26 本会議 (第2日) 代表質問	27	28 本会議 (第3日)	3/1
2	3 本会議 (第4日) 一般質問	4 本会議 (第5日) 一般質問	5 本会議 (第6日) 一般質問	6 本会議 (第7日) 一般質問	7 委員会	8
9	10 委員会	11 委員会	12 委員会	13 委員会	14 委員会	15
16	17 委員会	18 委員会	19	20	21 本会議 (第8日)	22

※午前9時30分から開会します。

編集後記

▶新年を迎えあつという間に1ヶ月が過ぎましたが、皆様にとってよい年になりますようお祈りいたします。甲賀市は5つの町が合併して昨年で20周年を迎え、新たな20年が始まりました。甲賀市議会も20周年を迎え、市議会だよりも今回で81号になります。今号では森林保全に取り組むグループを特集しました。▶今年は大阪・関西万博が開催されるとともに、秋には44年ぶりに滋賀県で第79回国民スポーツ大会、第24回障害者スポーツ大会が開催されます。大会の成功と地元選手の活躍、スポーツの振興と市民の健康づくりにつながるよう期待しています。

(広報部会員 橋本恒典)

※QRコードは(株)デンソーウェブの登録商標です。



甲賀市議会だより

2025.02.01
vol.81

編集■広報広聴委員会 発行■甲賀市議会

〒528-8502 滋賀県甲賀市水口町水口6053番地

TEL.0748(69)2258 FAX.0748(63)4373

ホームページ <https://www.city.koka.lg.jp/council/>

E-mail:koka05101000@city.koka.lg.jp